



# 前橋育英高校報

題字 中村有三 前学園長

建学の精神 ～正直・純潔・無私・愛～

## 第27回 育英祭 4年ぶり開催



### CONTENTS



#### 特集

1～3面

- ・挨拶
- ・進路指導部より
- ・部活動実績



#### 保護者会だより

- ・保護者会長挨拶 ・全P連大会
- ・私中高保護者会連合会・学校見学会
- ・中毛地区PTA指導者研究集会
- ・県P連指導者研究集会
- ・育英祭
- ・吹奏楽部定期演奏会



#### 同窓会だより

6面

- ・同窓会長挨拶
- ・親子二代同窓生
- ・「育英祭」に参加して
- ・マスターズ甲子園
- ・2024年度同窓生の集い



#### 後援会だより

7面

- ・後援会長挨拶
- ・定期総会
- ・援助金贈呈式
- ・スポーツレクリエーション交流会
- ・コラム育英II



#### トピックス

8面

- ・全国大会出場決定
- ・産学連携探究プロジェクト
- ・明石杯英語コンテスト
- ・交通安全教室

理事長挨拶



中村 義寛

前橋育英高等学校は1963年、昭和38年に開校し、今年60周年を迎えました。予備校である群馬英数学館を源に、昨年、逝去しました中村有三前学園長により男子校として創設、3年後には女子も受け入れ、男女共学校となりました。私学には「建学の精神」があり、

本校では常に国際的視野に立つことを心がけ「正直・純潔・無私・愛」の道義標準に則り、すべての人々と調和し、社会の福祉と世界の平和に貢献できる人材の養成を目標に、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を実践してきました。今後、前橋育英高校は私学としての独自性を生かし、大学進学向上にもなう進学実績の強化や運動部の強化、また、カリキュラムに特色を持たせることや、高校の施設、設備に関する計画も含め70周年、80周年に向けて将来構想をたててまいります。今後とも、関係者各位、関係諸団体の皆様のご理解と、ご協力を宜しくお願い致します。

校長挨拶



金子 雅人

日頃より本校教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、5月以降新型コロナウイルスが五類に移行し、コロナ禍で中止や延期となっていた学校行事の全てが、実施可能となり、学校生活に活気が戻りました。特に運動部の各大会では、声出し応援が可能となり、

各部は大きな盛り上がりの中で実力を発揮し、素晴らしい競技結果を残すことが出来ました。そして、教育環境の整備では、異常な酷暑が続く現在、熱中症対策となる武道館の空調工事が、夏季休業中に完了しました。また、10月に四年ぶりの開催となる「育英祭」が実施され、全校生徒・保護者の協力のもと無事終了しました。最後に本校は、今年創立60周年を迎えました。六十年前、創立者中村有三先生は「若者たちの明日のために、大きな夢を与えたい」という熱い思いで本校を開校しました。その熱い思いを継承し、生徒達の夢の実現に向けて、我々もともに頑張りたいと考えます。

副校長挨拶



神山 義幸

日頃は本校の教育活動へのご理解・ご協力を賜り、大変ありがとうございます。改めて感謝申し上げます。

さて、今年5月、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が深刻化し、インフルエンザと同様に引き下げられ、本校の学校活動もほぼコロナ前と同じに戻りました。生徒たちは学習活動、部活動にと、コロナ禍で不自由な思いをした分、より生き生きとした学校生活を送っています。私自身も教職員とともに生徒にとってより良い教育環境を提供し、高校生活が、思い出深い、有意義なものになるようにサポートしていけたらと考えています。副校長として何ができるか日々模索しながら職務にあたっていますので、皆様のご助言を賜れば幸いです。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。

教頭挨拶



上原 敏広

教頭3年目のご挨拶を申し上げたと思いましたが、もう4年目のご挨拶をしたためております。一年の時の移ろいのなんと早いことでしょうか。年をとれば時の過ぎ行くのが早く感じられるということもあるでしょう。ですがなんだかそれだけではないように私は思います。

春水四沢に満ち、夏雲奇峰多し。秋月明輝を掲げ、冬嶺孤松秀す。一年の四季には、それぞれに趣深い四時がありますが、最近では猛烈な暑さの夏と寒風吹きすさぶ冬という極端な2つの印象ばかりで、春や秋の節を感じられませぬ。四季ではなく一年が二季になってしまったように思います。強烈な二季にあたる間にはまた一年が過ぎていくのでしよう。寒暖の差に留意しつつまた一年、お仕事に、学業に、運動にみなさま頑張ってくださいませ。

事務長挨拶



富澤 昌久

昨年度から事務長としてお世話になっております。

さて、整理、整頓、清掃、清潔、誠実というローマ字での頭文字が「S」となる5S活動というスローガンがあります。職場環境の美化、教職員、職場の安全性の向上など、5Sの徹底により職場(学校)をよく見るようになるため、問題点の顕在化が進むと言われております。これらに加えて、誠心誠意・精一杯やること(親切)(6S)、正確性(7S)、スピード感を持つこと(積極性)(8S)、説明責任を果たすこと(責任感)(9S)が、信頼関係の構築(10S)につながるかと私は考えています。本校は今年で創立60周年を迎えました。これからも、前橋育英高校が地域から信頼され、ますます愛される学校となるよう、誠心誠意努めさせていただきますので、引き続きよろしくお願ひします。

令和5年度の主な施設整備について(報告)

今年度の主な施設整備として、北校舎下足ロッカーの更新、夏季休業期間を利用し武道館全館のエアコン設置工事、特別教室等の照明LED化工事、第一体育館の大型スクリーン(280インチ)設置工事、バス発着所前の塀改修工事などの教育環境の整備を行いました。これからも多様なニーズに合った教育環境の充実を図っていききたいと思



北校舎下足ロッカー更新



武道館全館エアコン設置



特別教室等の照明LED化



第一体育館大型スクリーン設置

地域懇談会に参加して

上野田町自治会長 工藤 武之



6月27日(火)に育英高校近隣の「光が丘町」「大根町」の自治会役員9名の方々と一緒に高校を訪問させていただき、高校の近況報告や各自自治会からの要望等の積極的な意見交換が行われました。

近況報告では第58回群馬県高校総体の総合成績で、男子第3位、女子第4位と報告がありました。大

自治会からは、生徒たちの自転車

部活動実績

2023 Summer~Autumn

陸上競技部

北海道インターハイ2023

男子棒高跳 原口顕次朗(3年) 5m10 優勝

女子棒高跳 柳川美空(3年) 3m90 優勝

男子800m 山鹿快琉(2年) 出場

女子100m 須賀結暖(2年) 出場

かごしま国体 成年女子棒高跳 柳川美空(3年) 4m10 2位

少年男子A棒高跳 原口顕次朗(3年) 4m80 3位

JOCジュニアオリンピックカップ 第17回陸上U18大会

女子棒高跳 柳川美空(3年) 4m05 優勝(大会新記録)

ウェイトリフティング部

北海道インターハイ2023

男子81kg級 篠崎優(2年) トータル247kg 第3位

男子+102kg級 青木優真(3年) トータル251kg 第9位

女子49kg級 鈴木美治(2年) トータル113kg 第15位

かごしま国体 重量挙げ少年男子81kg級

篠崎優(2年) トータル253kg 準優勝

重量挙げ少年男子102kg超級 青木優真(3年) トータル259kg 4位入賞

男子サッカー部

北海道インターハイ2023

2回戦 対 東山(京都) 0-0 PK5-3 3回戦 対 尚志(福島) 0-1

第102回全国高校サッカー選手権大会群馬県大会 優勝(3連覇)

女子サッカー部

第32回群馬県高等学校女子サッカー選手権大会 兼 第32回関東高等学校女子サッカー選手権大会 県予選 優勝(11連覇)

皇后杯群馬県女子サッカー選手権大会 優勝(4年ぶり)

第32回全日本女子サッカー選手権大会 関東予選 1回戦 対 霞ヶ浦(茨城) 0-1

女子ソフトボール部

群馬県新人ソフトボール大会 兼 第42回全国高校ソフトボール選抜大会 群馬県予選会 優勝

硬式野球部

第105回全国高校野球選手権記念群馬大会 ベスト8

第76回秋季関東地区高等学校野球大会群馬県予選 ベスト4

男子バスケットボール部

2023ウインターカップ 県予選会 3位

女子柔道部

北海道インターハイ2023 伊藤菜々美(2年) ベスト32 栗原あづ(2年) ベスト32

剣道部

群馬県高等学校対抗 剣道選手権大会

男子個人 宮口煌生(1年) 2位 小泉里樹(1年) 3位 五十嵐慶士(1年) 5位

水泳部

北海道インターハイ2023

福田達也(2年) 男子100mバタフライ 出場

ゴルフ部

全国高等学校ゴルフ選手権大会 谷寧々(2年) 出場

ボクシング部

第3回全日本マスボクシング選手権大会

高校生女子の部 160cm超級 佐藤愛花(1年) 優勝並びに最優秀選手賞

高校生男子の部

165cm超級 木村将斗(1年) 準優勝

囲碁将棋部

第47回全国高等学校総合文化祭

将棋部門女子個人戦 高平優月(2年) 出場

書道部

第76回群馬教育書道展

半紙の部 捧未結(1年) 群馬県高等学校教育研究会会長賞

吹奏楽部

第65回群馬県吹奏楽コンクール 高等学校Aの部 銀賞

進路指導部より

「夢」実現のための挑戦

進路指導部主任 西岡 良幸

令和5年度となり多くの行事が新型コロナウイルス感染症の流行以前に戻っています。進路行事については、単に復活させるのではなく、発展出来るように心がけています。9月には新規行事として1年生を対象に「職業体験」を実施しました。普段触れることの少ない業種について笑顔で積極的に参加する生徒たちの姿が印象的でした。

また、2年生では「カロリメイト」をいかに多く販売するかというマーケティングプログラムと、ベイシアプライベートブランドの商品開発プログラムにも挑戦しています。そして3年生はいよいよ目前に迫った進路実現に向けて、担任や教科担当と協力して最後の仕上げに邁進しています。生徒一人一人が様々な経験を通して「夢」を叶えるために前進している姿は、我々教職員にも勇気を与えてくれます。今後も生徒諸君とともに新しいことに挑戦していきたいと思

# 保護者会だより

## 4年ぶりの文化祭



保護者会長 林 恒徳

皆さんこんにちは、保護者会長 林恒徳です。

9月末まで日中は30度を超えるような日々が続き、10月に入ると中旬いきなり気温が下がるなど、受験を間近に控えた3年生を持つ保護者の皆さんをはじめ、お子さんの健康管理に苦慮しているところではないでしょうか。

夏休み明けあたりから3年生は大学選抜が始まり、もうすでに進学先の決まっている生徒も出てきています。

2年生の保護者の皆さんは、子どもたちの進学先に向けて、お子さんと話を進めなさいといかない時期に来ていますし、1年生の保護者の皆さんは、ようやく前橋育英高校に子どもたちも慣れ、クラブ活動などでも成果を出せる時期になっているかと思えます。保護者会としては、4年ぶりに開催された育英祭、それも保

護者会ブースとして、うどん、飲み物、とりわけあったかいコーヒの販売など、生徒会からの支援を受けながら、育英生の保護者として育英祭に参加することができました。

昨年の体育祭には保護者として参加ができませんでしたが、コロナ明けの社会の中で少しずつ日常が戻ってきているように感じます。

多くの高校で、修学旅行の内容容改変、中止などが昨年度までありましたが、前橋育英では、少しでも共通の思い出の共有ができるようにと先生方のご尽力で、修学旅行の思い出作りができています。

今年度は保護者ごその思い出作りに参加することがようやくできたという気がしています。

そんな今年度も残りわずかとなっておりますが、生徒たちはもちろん保護者の皆さんも同様に思い出作りをしていただくと幸いです。

結びに、校長先生をはじめとする教職員の皆さんのご尽力に感謝を申し上げます。また、よりよい保護者会活動を行えるよう役員一丸となって取り組んでまいります。皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

### 全国高P連 宮城大会に参加して

8月24日～25日

副会長 大澤 智之



コロナが5類になり、初めての全国高P連の大会は、宮城

県にて行われました。今回のテーマは「豊かな杜につむぐ虹の光」と題して、12年前に未曾有の大震災を経験した子どもたちが、何度となく試練に立ち向かい、思い描いた夢の実現のために、希望を失わず、困難に打ち勝つ力、しなやかに強く生き抜く力が必要であるというのが今回のテーマでした。子ども達の明日の未来を作っていくのは、大人の役割です。PTA活動を通して、子ども達の未来が明るいものになる様、努めていきたいと思えます。

### 私立中学高等学校保護者会連合会・学校見学会

副会長 深澤 勉

10月13日(金)本校第一体育館にて、群馬県私立中学高等学校保護者会連合会・学校見学会が開催され、14校80名の教員や保護者が参加しました。

この会は私立学校における情報を交換する場となり、最初に新島学園中学・高等学校



PTAが活動状況を発表しました。中高一貫教育なので、コロナ禍でもしっかりと引き継ぎがなされ、円滑な活動がなされている印象でした。

次に本校保護者会の発表では、各クラブ活動・体育祭や文化祭などの行事を通じての支援や機関誌の発行などを紹介しました。

その後、アトラクションとしてダンス部・吹奏楽部の発表があり、最後に、学食やトレーニングルームなどの施設見学を行い終了となりました。

### 中毛地区PTA指導者研究集会に参加して

第3学年委員長 立川 貴



10月6日前橋市民文化会館にて中毛地区4校のPTAによる研究協議と生徒による意見発表が行われました。

勢多農、伊勢崎興陽、四ツ葉学園、前橋東の取組について、各校独自の特色を持ったPTAとの連携は、大変参考になりました。生徒達の発表は前橋西、前橋清陵、伊勢崎興陽、伊勢崎清明の4校からあり、商品開発や生徒同士のコミュニケーションについてなど興味深い発表でした。

### 群馬県高等学校PTA指導者研究集会に参加して

副会長 大澤 智之

令和5年度群馬県高等学校PTA指導者研修会に参加し、研究協議では県内4校の発表があり、各校共にコロナに苦しみながら工夫し、活動してきた経緯を伝えていただきました。学校・生徒・保護者が抱えている悩みや教育の問題をアンケート化し、分析・開示することで、日頃からのコミュニケーションがいかに大事なことなのかということをお話することができました。

これから先の少子化に伴い、PTAがもっと生徒や学校に寄り添い、選ばれる学校・保護者会を目指して活動を続けていきたいと思えます。



# 育英祭

## 一祭合祭

育英祭実行委員長  
3年8組 中原 縁

まず初めに今回の第27回育英祭を開催するにあたりご協力頂きました先生方や保護者の皆様、そして「届けよう、服のチカラ」プロジェクトにご協力頂いた保育所等の方々に感謝申し上げます。

無事に第27回を迎えられた育英祭ですが、天候が大きく崩れることもなく実施することができました。特に一日目は快晴だったこともあり、生徒だけでなく先生の士気も上がっていたことと思います。



部活動発表を行ったりしました。どのクラスも作品のクオリティがとても高く、個性豊かな出し物に仕上がっていました。どれも生徒一人ひとりにとってかけがえのない青春の一ページに刻まれる良い思い出となったのではないのでしょうか。それだけでなく、普段あまり話さないクラスメイトとも交流できたのではないのでしょうか。周りの人と協力し、一つのことをやり遂げることで達成感を感じることができたと思います。

三年生にとっては最後の行事でした。コロナ禍の影響を受け、最初で最後の機会となった文化祭。全員が良いものにしようと力を出し切り、学生生活最後の素敵な思い出を作ることができました。これからも後輩のみんなが我が校の伝統を大切にしてくれることを願うばかりです。



## 育英祭

総務委員長  
久保田 憲正

第27回育英祭が10月20、21日の二日間で開催されました。保護者会は、21日の一般公開日に参加をさせていただきました。

コロナ明けでの四年ぶりの開催になり、実際の雰囲気はわからないままのスタートでしたが、諸先輩方、教職員、生徒の皆様のご協力のおかげで、保護者会としても楽しく



大変有意義な一日となりました。模擬店では、温かいうどん、コーヒ、冷たい飲み物を販売させていただき、各々の担当で皆が奮闘する姿があり、文化祭ならではの光景が印象に残りました。

前会長の吉田さん親子や前年度の役員の方にもお手伝いいただき、コロナにより昨年まで体験できなかった、いわゆる「思い出に残る学校行事」に参加していただけたのかと思います。

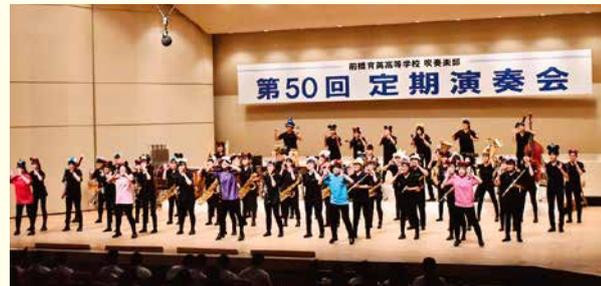
# 吹奏楽部

## 第50回 定期演奏会を終えて

吹奏楽部部长  
高野 結夢

今年度の定期演奏会では新型コロナウイルスによる従来の制限が無くなり、私達部員もご来場くださった皆さんも大いに盛り上がった演奏会となりました。特に野球応援メドレーでは、ダンス部の皆さんの出演により、今までにない盛り上がりとなりました。この演奏会をもって引退

となった私達第59期生(三年生)20名は、今までたくさん悔し涙を流してきました。その度に全員で支え合い、励ましあい、乗り越えて、無事に最後の演奏会を迎えることができました。それも全て私達を第一に考えてくださった顧問の先生方、一番近い場所で見守ってくれた家族、応援してくださっている皆さんのおかげです。最後になりますが演奏会へのご来場、誠にありがとうございました。これからも温かい応援をどうぞよろしくお願ひします。



前橋育英

# 雄渾

同窓会  
だより

## 邁進する

同窓会長 新井 信雄  
(第3期生・昭和43年卒)



令和5年度、前橋育英高等学校同窓会の皆様方におかれましては、益々のご活躍のこととお慶び申し上げます。平素より同窓会活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年3年ぶりに同窓会の集い総会や懇親会など、会員各位皆様にも多くのご出席をいただき、盛大に実施できましたことを心より感謝しております。

さて本校のスポーツ面では、全国高等学校総合体育大会、大会愛称は「飛び立て若き翼 北海道総体2023」、スローガン「轟かせ 魂の鼓動北の大地へ大空へ」と、本校より多くの選手が各競技、各種目で活躍をした。その中でも陸上競技部、棒高跳び原口顕次朗選手や女子の柳川美空選手が

優勝し育英の底力をみせた。

一方で育英サッカー部は2年連続の日本一を目標に挑んだ大会であったが、連覇はできなかった。団体、個人、種目で上位入賞があり顕著な結果を残した。

文化面では、Ikenobo(いのぼう)花の甲子園2023関東大会にて敢闘賞を受賞、書道部でも群馬県教育書道展において(教育研究会長賞)に輝いた。他部活動でも活躍を見ることができた。

ボランティア活動などに積極的に取り組み、地域社会から厚い信頼を受けております。

高校スポーツ界の雄として硬式野球部、サッカー部をはじめ、各種目で全国制覇を達成できる高校となり、卒業後の進路においても着実に国公立や有名私大の進路実績を積み上げている。育英大学や育英短期大学との連携による幼児教育者の育成など本校の特色を発揮しています。

本校は文武両道を基本とし日々高い目標を掲げ邁進を続けております。同窓会としても引けをとらないよう、県下一の同窓会を目標に活動していく所存です。

## 『育英祭』に参加して

副会長 板橋 和美  
(第13期生・昭和53年卒)

今年3年ぶりに「同窓生の集い」を行うことが出来て、また今回同窓会として初めて「育英祭」に参加をさせていただきました。創立60周年約27,000人を超えるOBやOGの集合体として同窓会の存在や興味を抱き色々なイベントにもっと参加してほしい!そんな思いに沢山の方々の協力やお手伝いをいただき参加ができませんでした。

## 親子二代同窓生

田中 康広  
(第22期生・昭和62年卒)  
綾乃  
(1年)



私は前橋育英高校の普通科で野球部でした。甲子園へは行けませんでした。甲子園最後の夏となる群馬県大会では、ベスト8に入りました。短かった高校生活ですが、良い仲間と最後まで野球を続けられたことは、とても貴重

## 「同窓生のちよっと一休み懐かしの教室」のブースで「50周年記念DVD」の上映や過去の記念誌・学校報の展示や掲示、野球部・サッカー部の応援



な経験になりました。

娘は小さい頃から私と一緒に育英野球部の応援に行っていました。夏の甲子園第九十五回大会の決勝戦へ連れて行った時はまだ五歳でした。初めての甲子園に親子で感動し、優勝の瞬間を見ることができて、一生の思い出になりました。

その時から野球に興味を持った娘は、小学三年生で少年野球を始め、中学では女子ソフトボールのクラブチームに入団しました。

そして今年の四月に育英高校のスポーツ科学コースに入学して、ソフトボール部でお世話になっています。娘には一度きりの高校生活を充実させ、たくさん思い出を作ってほしいと思います。

タオルフラーなどグッズ即売も企画して気軽に立ち寄れる場所を設け、約200名のOB・OGを含めた来場がなかった。「先ずは一歩次回も多くの方々の来訪をお待ちしています!」

## 悲願達成

### マスターズ甲子園へ

監督 福井 和真  
(第37期生・平成14年卒)

昨年予選では優勝しましたが、プレーオフで敗れ甲子園を逃しました。決勝は大差での勝利で決定戦も勝てるだろうという気の緩みから采配や選手起用に失敗しました。今年も初戦からたくさんOBに参加していただき、みんなの力で優勝、悲願の甲子園出場を叶える事ができました。

甲子園での初戦は、11月11日の開幕試合で、佐藤義則さん



令和5年8月6日上毛新聞掲載

今後世代の垣根を越えたチームワークで、現役選手とOBのアベック出場を目指していきたいと思えます。

ん(現役時代はオリックスでプレーし楽天では、コーチとして田中将大投手を指導)擁する函館大有斗と対戦しました。結果は6-7で惜敗となりましたが、現役時代に甲子園の土を踏めなかったOBのみんなが、憧れの舞台で試合ができたことは感慨深いものがありました。

前橋育英高等学校

## 2024年度 同窓生の集い

(同窓会総会・講演会・懇親会)

日時 2024年7月6日(土)  
午後5時より

場所 ホテルラシーネ新前橋  
前橋市古市町1-35-1

卒業生ならどなたでもご参加OKです!!  
お気軽にご参加下さい!

詳細については後日同窓会HPまたはFacebookにてお知らせします。

★同窓会のホームページが出来ました★

<https://www.mikuei-dousoukai.com/>

# 後援会だより

## グッドルーザー

後援会長 福島 英人



最近グッドルーザーという言葉を目にする機会が増えてきた。文字通り、負けても潔い人という意味だそう。九月に開催された第19回アジア大会のテニス競技で、試合に負けた選手が自分のラケットを叩き壊し、試合後の握手にも応じなかった。その後謝罪が受け入れられたというが、潔さが欠如していた。残念というほかはない。

我が校は、クラブ活動面では全国制覇を果たしたサッカー部、野球部をはじめ多くのクラブが各分野において素晴らしい成績を示している。しかし全ての大会で頂点に立つのではない。負けることもある。

勝利しても驕ることなく、自分の力を発揮させてくれ

た相手に感謝し、敗退しても腐ることなく、相手の力を称賛し次の機会への糧とする、潔い気持ちで試合に臨んで欲しい。

また学業面においては勝敗を判断することに難しさを感じるが、各期の試験や卒業時の受験、また就職の場面において、目先の勝敗にとらわれず、自己に対して厳しく、そして潔くあつて欲しい。

後援会の目的は、建学の精神である『正直・純潔・無私・愛』を基盤として、社会に求められる卒業生を送り出し、併せて育英高校の発展に寄与するところにあります。生徒各自が育英で学ぶ三年間の中で、感謝と潔さを身につけることができるように、後援会として側面から協力してまいります。

日々、生徒指導にご尽力いただいている先生方に心から感謝を申し上げると共に、前橋育英高校の更なる発展を願ひ、皆様のご協力をお願い申し上げます。

### 令和5年度 後援会定期総会

副会長 中村 洋平

新型コロナウイルスがら類感染症に移行し社会様式にもまた変容を感じるところであります。

さて今年度の定期総会は感染拡大防止措置に配慮しつつ久しぶりの対面形式で開催となりました。

本年度の事業計画案においては前橋育英高等学校の標語であります「夢ありてこそ」に沿って在校生の様々な分野での活動促進が叶うよう出席した全ての役員のご賛同を得て無事全ての議決がされたことを改めてご報告いたします。

まだまだコロナ禍前と同等の活動再開までに至らないこともあるでしょうが「文武不岐」今夏のインターハイにて多くの部活が出場された中で、陸上競技の棒高跳びでは男女優勝の報告は大変喜ばしいものでした。

さらに近いこととしては女子サッカー部群馬県選手権11連覇や文化面では白石杯高校生英語コンテスト予選会での入賞者のお知らせと吹奏楽部が参加したBrass Live! 2023も社会交流の促進が生んだ結果として微笑ましい出来事の一つです。

このような喜びを皆様と分かち合える日々が益々増えることを願っています。

### 学校後援会援助金贈呈式

陸上競技部顧問 小野 裕幸



日頃より前橋育英高校のクラブ活動のご支援にご協力をいただき誠にありがとうございます。クラブ顧問を代表いたしまして感謝申し上げます。

さて、7月20日(木)本校会議室において学校後援会クラブ活動援助金交付式が行われ、後援会林恒徳副会長、同窓会新井信雄会長より、激励の言葉をいただき、援助金、激励金が各クラブ顧問代表者に贈呈されました。

新型コロナウイルスによる制限も概ね解消され、各クラブの生徒が自身の目標に向かい一杯努力できる環境がようやく戻ってきました。生徒たちの熱い思いをしっかりとサポートし夢の実現へと導いていけるよう精進してまいりますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### スポーツレクリエーション交流会について

副会長 伊藤 昌司



この交流会は、私が保護者会長をしてきた平成19年度から年例行事として毎年開催しており、コロナ禍等により3年開催が無かったので、次回で17回目となります。

開催のきっかけは、平成18年度の体育祭の開催にあたり、本部役員数名の「一緒に参加したいよね。」の声でした。ただ行事として開催する運びとなりました。

スポーツは人柄が表れ易く、この行事のお陰で役員相互を理解し、親睦も深められ、他の行事にも良い影響を与えていると思っております。また、健康増進とスポーツを生徒が楽しむためにも、この行事を継続してもらいたいと願っています。

### コラム育英Ⅱ

#### ロシアのウクライナ侵攻

ロシアのウクライナ侵攻から一年半以上たった今、まだ終戦の光もなく続いています。自国発展を目指し北大西洋条約機構の加盟に向かうウクライナに対し、ロシアが怒りを持ち従順な国に変えようとする両国の戦い。他にもこの戦いになった事情はあるのかもしれませんが、ただ一言、それが原因?何故?としか言えません。この戦争で50万人以上の全く関係ない人々の命が落とされています。この現実には目を向けず、この軍事戦争が今、核兵器を使った世界大戦に発展する可能性も考えられる事になつていきます。

先日、私は広島原爆資料館に行きました。信じられない光景の写真や最後に残された言葉などを見ながら、進む足が重くなり言葉も出ず世界各国の旅行者も涙を抑えきれなくなっていました。

このような現実を知りながらもまだ繰り返している戦争に世界中の人々はもっと強く感じ、この現実を無くす取り組みに向き合わなければならぬ時代は今もあると思わなければいけません。(〇記)

# 全国大会 出場決定!!

## 男子サッカー部

### 第102回全国高校サッカー選手権大会出場

監督 山田 耕介

皆様方の応援の力で、3年連続26回目の優勝を果たすことができました。準々決勝の常磐、準決勝の桐生第一、決勝の健大高崎と、相手は前橋育英を研究し、非常に苦しい戦いが続きました。それぞれのチームが、特徴ある戦い方をしてくるまでに苦勞しま



した。常磐は、完全な守備的布陣によりブロック形成、桐生第一戦は、開始1分PKを取られ、自分達のミスからカウンターで2点目を決められてからの逆点と本当に大変な試合でした。健大高崎はハイプレス・ハイラインで徹底した攻撃的な守備戦術をして前橋育英に対応してきましたが、何とか全員の力で優勝できました。

全国大会での応援よろしくをお願いします。

主将 雨野 颯真

この度3年連続で優勝出来たことに嬉しく感じています。ただ、これはプレーをした私たちだけではなく多くの人々の支えがあってこそこの結果だと思います。感謝の気

持ちでいっぱいです。

夏のインターハイでは3回戦で敗退し、本来の自分たちの力を出し切ることができずに悔しい結果となってしまいました。その悔しさを晴らすために、全国大会では日本一という目標を掲げ、チーム一丸となって頑張ります。応援よろしくをお願いします。



第102回全国高校サッカー選手権大会  
2023/12/28(木)～2024/1/8(月・祝)  
国立競技場ほか

## 2年生 産学連携探究プロジェクト

「総合的な探究の時間」を活用し、本校が推進する「産学連携による協働学習を通して、コミュニケーション能力や発想力を育成すること」を目的とした取り組みの一環で、これからの社会をよりよく生きていくために必要とされる資質や能力を育成するものです。

9月8日(金)

### Basia 産学連携商品開発プロジェクト

2年生Ⅲ類総合進学コース138名を対象とし、株式会社ベシア様との産学連携商品開発プロジェクトに関する講演会を開催しました。生徒たちは3か月かけて、開発したい食品をグループごとに考え、アイデアを発表していきます。柔軟な発想でどんな商品のアイデアが生まれるのか楽しみです。



9月11日(月)

### 大塚製薬・クスリのマルエ 産学連携マーケティング体験

2年生Ⅱ類特進コース79名を対象とし、2017年度より本校と産学連携協定を締結している大塚製薬株式会社様と、地元群馬県前橋市に本社を置きドラッグストア及び調剤薬局を展開する株式会社クスリのマルエ様との産学連携マーケティング体験に関する講演会を開催しました。生徒たちは3か月かけて、「カロリーメイト」の販売促進方法をグループごとに考え、アイデアを発表していきます。市場調査等による消費者の需要分析やPOP(Point of Sales「販売時点情報管理」)実績の分析などを通してマーケティングを体験することで、実社会での販売と消費がどのように展開されているのかを学び、視野を広げてもらえたらと思います。

## 群馬県高等学校教育研究会・ 県立女子大学外国語研究所・県教育委員会主催 2023年明石杯高校生英語コンテスト

令和5年11月10日(金) 会場:群馬県立女子大学

出場部門:レシテーションの部 出場生徒:1年(Ⅱ類)高橋里佳子さん



9月に行われた明石杯スピーチコンテストの前橋支部大会でレシテーション部門2位に入賞した高橋里佳子さんが、このたび県大会に出場し見事4位に入賞しました。県大会レシテーション部門には各地区で上位となった強者16人が出場。1～3年生の幅広い学年層の中、高橋さんは唯一1年生で入賞を果たしました。文化祭や定期テストなど学校行事で忙しい中でも、指導担当の先生をはじめ多くの英語科の先生方に教えを請い、常に高みを目指し励んできた高橋さん。県大会入賞おめでとうございます。

## 交通安全教室 8月28日(月)

JAF日本自動車連盟群馬支部より交通安全インストラクターをお招きし、交通安全教室『自転車事故防止と危険予知』を実施しました。



群馬県は高校生1万人あたりの事故発生件数が8年連続全国ワースト1位という状況にあります。こうした現状を改善すべく、本校ではこの度、交通安全教室を実施し、全校生徒への交通ルール教育および安全意識の啓発を図りました。特に「ヘルメットの重要性」については実験映像やデータのご提示により、とてもわかりやすく説明していただきました。生命を守ってくれるヘルメットをしっかりと着用しましょう。

## 「全国大会出場募金」申込受付中

本校ホームページからのお申込みで、クレジットカード、ペイジー(インターネットバンキング)、コンビニ支払いがご利用いただけます。

URL: <https://maebashiikuei-h.ed.jp/donation.php>



## 編集後記

文化委員 金子 忍

新型コロナウイルスに対する規制が緩和され、今年は街を彩るイルミネーションがより輝いてみえるような気がします。

教育環境や学校行事が中止されたり縮小されたりする中で、マイナスな思いもあったことでしょう。しかしコロナ禍だからこそ、できた事や気付いた事もあったのではないのでしょうか。紙面作りに際し、生徒たちの活躍の様子や、それを支えてくださる方々の想いに触れることができ嬉しく思います。ご協力いただきましたみなさまには、心より感謝申し上げます。

## 合同誌広報委員

保護者会文化委員会  
委員長 新井 和裕  
副委員長 飯塚 美ゆき

同窓会 山田 直美  
後援会 堀井 貴子  
学生会 小井 靖真  
黒澤 卓人  
金子 義幸  
高橋 義敏  
遠藤 邦男